

一日断酒 例会出席	断酒あしや	芦屋断酒会 〒659-0025 芦屋市浜町4-2 TEL & Fax : 078-882-0143
7月 *月曜昼例会 *21日祝(月) 13:30~15:00 芦屋市民センター (204) 7月 *金曜例会 4日(金) 19:00~20:45 木口記念会館 3F大会議室 B *断酒表彰 16年 11日(金) 19:00~20:45 木口記念会館 3F大会議室 B 18日(金) 19:00~20:45 木口記念会館 3F大会議室 B 25日(金) 19:00~20:45 木口記念会館 3F大会議室 B * (のぞみ会) 例会案内 日(金) 10:00~12:00 芦屋市民センター *家族会 7月 25日(金) 19:00~20:45 木口記念会館 小会議室 1 *酒害相談 7月 15日(火) 13:30~15:00 芦屋健康福祉事務所 7月 11		
栃木県断酒ホトギス会、前、和歌山断酒道場長、児玉正孝訓話集からの引用 甘柿と渋柿 一般に渋柿は疎まれ、甘柿は歓迎されます。 しかし、甘柿は甘柿のままでしかありませんが、渋柿は月日とともに自己の力で渋を抜き、やがては甘柿からは得られない独特の甘みを出すに至ります。吊るし柿が人に珍重されるのも、普通の甘柿からは得られない味を持っているからです。 人間にも甘柿と渋柿があると思われまふ。現在は逆境にあつて渋柿のごとき存在であっても、努力と精進によって己を磨き高尚な人格を形成した時には、一般の人にはない深い風格を身に付けることができ、人々から尊敬される人間に成り得るわけですね。人間には誰も何かしらの渋は持っているものです。 大切なのは、これを甘みに変える努力なのです。渋柿が自ずからの力で渋を抜き、他にない味を作り出すように、人間も忍耐と努力によって、やがては逆境から抜け出して、世に役立つ人間になる。この努力が、過程が尊いのです。 いかに精進しても一挙に渋を抜き出すことは不可能なことです。長い間の不断努力、これが人間を徐々に高めていくのです。この努力如何によって、人間の価値が決まるものだとも言えます。努力の期間が長ければ長いほど、その人の人格は一層高められていくのです。 「みるもよし、みざるもよし、吾は咲くなり」この精神こそが尊いのです。人間の修業は一生涯続くものであり、評価を求めるものではありません。度量の積み重ねが、自然と光を放ってくるのです。このひかりこそ本物で、メッキの光ではありません。 吊るし柿は腐ることなく、その味を持ち続けるように、人間も真の修行から得た人格は、失うことなくいつまでもいぶし銀のような奥深い光を失うことはありません。この人生でだれが幸せで、だれが不幸か、また何が成功で何が失敗か、最後には神仏のみが定めることなのでしょうが、私共において、それを決めるものは結局「信念と努力」のほかはないでしょう。 一日一日が修行の連続であるというのも、この意味からです。一時のごまかしでなく、人の後になっても、誠実に一步一步人生を登りつめていく根気と忍耐を忘れてはメッキの光しか得られないのです。		
7月 5日(土) 県役員会 7月 13日(日) 徳島県断酒会一日研修会 10:00~ 吉野川市文化研修センター 7月 20日(日) 第37回奈良市断酒会一日研修会 10:00~ 奈良公園パスターナルレクチャーホール 7月 27日(日) 四国ブロック愛媛大会 10:00~ 愛媛県生涯学習センター		

…断酒例会は体験談に始まり体験談におわる…